

平成28年度 当初予算のポイント

行田市

1 総括

平成28年度の当初予算は、昨年度に引き続き事務事業の見直しによるコスト縮減や事業の選択と集中を図り、「行田市版骨太の方針」の3つの柱である「人口減少対策」「安心安全の確保」「魅力あるまちの創出」を推進する重点施策や「行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業に、財源を優先的に配分したところである。

第5次行田市総合振興計画に定める市の将来像である「古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ」の実現を目指し、財政健全化の取り組みを継続しつつ、市民と行政との創意工夫により、活力と希望に満ちたまちを目指すものである。

2 予算規模

一般会計予算 258億5,000万円
 (27年度 258億8,000万円)
 (前年度当初比 0.1%減)

特別会計、公営企業会計を含めた総額は、
 482億5,003万円
 (27年度 479億9,868万円)
 (前年度当初比 0.5%増)

【国】	96兆7,218億円
(27年度)	96兆3,420億円
	(前年度当初比 0.4%増)
【県】	1兆8,805億円
(27年度)	1兆8,290億円
	(前年度当初比 2.8%増)
【地方財政計画】	85兆7,593億円
(27年度)	85兆2,710億円
	(前年度当初比 0.6%増)
【地方財政計画】 【地方一般歳出】	69兆9,137億円
(27年度)	69兆3,151億円
	(前年度当初比 0.9%増)

<参考> 一般会計当初予算の推移

(単位：千円、%)

年 度	19	20	21	22	23
当初予算額	23,100,000	23,830,000	22,800,000	24,140,000	24,530,000
伸 び 率	0.1	3.2	△4.3	5.9	1.6
年 度	24	25	26	27	28
当初予算額	23,680,000	24,680,000	25,860,000	25,880,000	25,850,000
伸 び 率	△3.5	4.2	4.8	0.1	△0.1

3 歳 入

- (1) 市税収入は、新增築家屋の増加による固定資産税や、車両台数の増加による軽自動車税で増収が見込めるものの、法人税割の税率引き下げの影響による法人市民税やその他の税目の減収がこれを上回ると見込まれることから、前年度比421万円(△0.0%)の減となった。

<参考> 市税の推移

(単位：千円、%)

年 度	24	25	26	27	28
当初予算額	10,045,519	10,004,593	9,995,490	10,023,831	10,019,626
伸 び 率	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.1	0.3	△ 0.0
構 成 比	42.4	40.5	38.6	38.7	38.8
決 算 額	10,378,695	10,326,074	10,387,605	—	—
伸 び 率	△ 2.6	△ 0.5	0.6	—	—

- (2) 地方交付税は、前年度決算見込みと地方財政計画の内容を勘案して試算した結果、前年度と同額となった。
- (3) 財源不足を補うための基金取崩しについては、財政状況が厳しいことから、財政調整基金から4億円(前年度比+1億円)、職員退職手当基金から1億円(前年度比△1億円)を計上した。
また、ふるさとづくり事業に充てるため、ふるさとづくり基金から2,500万円(前年度同額)の取崩しを計上した。
- (4) 市債は、事業を厳選するとともに、合併特例債をはじめとした交付税措置のある有利なものを活用することとしている。市債発行額は25億7,900万円(前年度比△2億680万円、△7.4%)を計上し、市債依存度は前年度比△0.8%の10.0%となった。
主な理由は斎場待合棟・火葬棟耐震補強及び改修工事をはじめとする大規模事業の終了によるもの。

<参 考> 市債(一般会計)の推移

(単位：千円、%)

年 度	24	25	26	27	28
当初予算額	2,168,600	2,775,300	3,380,800	2,785,800	2,579,000
伸 び 率	△ 20.1	28.0	21.8	△ 17.6	△ 7.4
依 存 度	9.1	11.3	13.1	10.8	10.0
年度末現在高	24,804,927	25,567,633	27,322,828	27,786,098	27,834,903
伸 び 率	△ 1.0	3.1	6.9	1.7	0.2
特例地方債を除いた残高	11,012,647	11,047,330	12,199,407	12,095,568	11,823,875
伸 び 率	△ 6.1	0.3	10.4	△ 0.9	△ 2.2

※ 28年度の地方財政計画における地方債依存度 10.3%

※ 27年度末、28年度末における市債残高については見込み数値

(1) 「行田市版骨太の方針」重点施策

① 人口減少対策

《企業誘致などによる雇用環境の創出》

☆ 創業者支援助成事業	7,200千円
・Uターン創業支援 ・後継者支援 ・第二創業支援	
○ 起業家支援助成事業	13,571千円
市内の空き店舗等を利用して新規に事業を開始する者への助成	
○ 企業立地促進事業	163,022千円
・企業誘致に係る情報交換会 ・企業誘致PR ・企業立地奨励金	
○ エコノミックガーデニング事業	19,993千円
中小企業振興事業補助金（・事業拡大設備投資事業補助金 ☆従業員資格取得助成金 他） 他	

《特色ある教育の推進》

☆ パワーアップサポーター配置事業	11,000千円
教員の指導法に対して指導・助言ができるベテランの非常勤講師を配置し、学力の向上を図る	
○ 少人数学級編制事業	128,000千円
市費負担教職員の加配により、小中学校全学年で少人数学級を編制	
○ 小中学校英語活動推進事業	50,337千円
○ 中学生海外派遣事業	7,849千円
○ きらきらサポーター配置事業	33,755千円
小中学校の特別支援学級等で児童・生徒の学校生活を補助するサポーターの配置	
○ いじめ対策事業	14,300千円
・いじめ問題対策連絡協議会設置 ・さわやか相談員配置 他	
○ 小中学校トイレ改修事業	499,400千円
・改修工事（小学校5校） ・改修工事設計業務委託（小学校4校）	
○ ブックスタート及びセカンドブック事業	2,418千円

《子育て環境の充実》

○ 子育て世帯定住促進事業	47,400千円
・転入者住宅取得奨励金 ・市内事業者施工奨励金 ・三世代同居・近居奨励金	
○ 子ども医療支給費	250,000千円
入院・通院とも中学校卒業まで無料化（H23年4月～）	
☆ 多子世帯給食費給付事業	25,000千円
市立小・中学校又は特別支援学校に在籍している子供を3人以上養育している保護者に対し、 3人目以降の子供について学校給食費の補助（無償化）を実施	
○ 子育て包括支援センター事業	5,937千円
妊娠・出産・産後間もない時期を安心して過ごせるよう切れ目のない支援体制を構築	
☆ 4カ月児健診個別健診事業	4,364千円
○ 放課後児童対策事業	187,313千円
☆ 公設学童保育室2カ所新設予定（H28年4月1日現在：公設14カ所、民間1カ所） 他	
○ 地域子育て支援拠点事業	27,969千円
・きッズプラザあおい運営委託料 ・つどいの広場委託料（5カ所） 他	
○ 病児・病後児保育事業	13,485千円

② 安心安全の確保

《地域づくりの推進》

- 安心生活創造事業 4,418千円
市民が地域で支え合う「いきいき元気サポート制度」を引き続き実施
- 市民活動サポートセンター事業 2,113千円
市民活動サポートセンターを中心に協働のまちづくりを推進
- まちづくり元気創出事業 1,000千円
自治会が行政を補完する公共の担い手となるための足がかりをつくるための補助
- 防犯灯設置及び電気料補助事業 12,631千円
- ☆ 認知症あんしんガイドブック配布事業 196千円
- 安心・安全情報キット、安心・安全カード配布事業 135千円
- 循環バス運行事業 79,205千円
・全6路線の運行事業費 他
- 生活路線バス支援事業 17,293千円
・ノンステップバス導入費用の補助 ・路線バス吹上線運行経費の一部補助

《適切なインフラの整備》

- ☆ 秩父鉄道新駅整備事業 104,069千円
秩父鉄道の持田―熊谷駅の間に熊谷市及び秩父鉄道と連携し、新駅を整備
- ☆ 秩父鉄道新駅設置に伴う駐輪場整備事業 2,792千円
- 秩父鉄道新駅設置に伴う道路整備事業 79,000千円
- 橋りょう長寿命化事業 29,500千円
- 排水路等整備事業 136,047千円
・出水対策事業（西新町、藤原町一丁目・富士見町一丁目） 他
- 総合公園整備事業 156,000千円
○総合公園プール跡地再整備事業（多目的グラウンド整備工事） 他
- [下水道特別会計] 緑町ポンプ場改修事業 110,200千円
☆緑町ポンプ場長寿命化対策工事 ☆緑町ポンプ場管理棟耐震化工事 他

《防災体制の強化》

- 消防施設整備事業 77,626千円
・消防車両の更新（災害対応特殊救急自動車） ・消防団庁舎の改修 他
- ☆ 老人福祉センター（永寿荘、南河原荘）耐震診断事業 6,500千円
- 木造住宅耐震改修等補助事業 650千円
・耐震診断補助 ・耐震改修補助
- 老朽空き家等解体補助事業 1,000千円
- ☆ 消防団員の処遇改善事業 37,691千円
副分団長の設置及び水防員体制の見直しを図り、消防団組織の充実強化
- ☆ 衛星系防災行政無線更新事業 11,600千円
整備工事は埼玉県が実施し、市は工事費用の1/2を負担
- 緊急防災体制整備事業 14,490千円
☆地震ハザードマップ作成業務委託 ・避難所備蓄倉庫及び発電機の整備 他
- 自主防災組織補助事業 1,500千円

③ 魅力あるまちの創出

《健康づくりの推進》

- 市民けんこう大学開催事業 587千円
- 健康づくりチャレンジポイント事業 698千円
健康づくりに関する事業への参加に対してポイント制度を設け、活動参加を促進
- 禁煙チャレンジ応援プラン助成事業 516千円
- 薬局を拠点とした健康づくり事業 1,143千円
☆禁煙サポート薬局事業 ・ 糖尿病早期発見事業
- 各種疾病の早期発見事業 55,524千円
がん検診など各種検（健）診の実施
- [介護保険特別会計]フィットネスクラブ提携事業 1,840千円
・ アクアフィットネス教室（市民プール） ・ フィットネスクラブ利用料補助（市内3カ所）

《賑わいある都市拠点の整備》

- ふるさとづくり事業（ふるさとづくり基金活用事業） 25,093千円
・ 足袋蔵等歴史的建築物改修・活用事業への補助金
・ 行田らしさを感じさせる建物改修、塀や看板の設置・改修への補助金
・ 観光客向け案内標識、休憩・授乳施設等の整備に対する補助金
- 行田らしいまち並みづくりと賑わい創出事業 88,465千円
・ 歴史的街路整備事業 ☆文化ゾーン修景整備事業
・ 街なかサイン整備事業 ・ 地域まちづくり活動支援事業
☆おもてなし活動支援事業 ☆チャレンジショップ事業
- JR行田駅前広場周辺再整備事業 8,750千円
☆壱里山公園境界測量業務委託 ☆壱里山公園移転整備工事 ☆壱里山駐輪場解体・仮設工事
- 産業交流拠点整備事業 9,605千円
・ 産業交流拠点整備基本計画策定委託料 他

《地域資源などの活用による交流人口の拡大》

- 情報発信強化事業 2,020千円
☆サイクリングロード・遊歩道プロモーション事業 他
- 観光客誘致推進事業 40,000千円
・ 「忍城おもてなし甲冑隊」による観光PR活動
☆行田市バスターミナル観光案内所とJR行田駅前観光案内所の運営委託
- ☆ 国登録有形民俗文化財資料整備事業 3,031千円
市の基幹産業であった足袋産業に関する資料の整理と調査
- 移住したくなる行田のプロモーション事業 400千円
定住促進事業の一環として、街コンイベントを各種団体への委託により実施
- ☆ ほくさいプロモーション事業 340千円
行田・加須・羽生の3市連携により、広域的な観光・婚活ツアー等を実施

(2) その他の主な事業

○ ふるさと納税促進事業	5,643千円
○ 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	2,400千円
○ 住宅用高効率給湯器設置補助事業	1,500千円
☆ 住宅用蓄電池設置補助事業	500千円
○ 電気自動車等導入補助事業	1,500千円
☆ 斎場火葬炉改修事業	25,000千円
H28～H31年度の継続費（事業総額101,500千円）	
☆ 攻めの農業支援事業	3,000千円
「攻めの農業」を实践する取組を行おうとする農業者に対する補助	
☆ 忍・行田公民館整備事業	385,000千円